

## くじ抽選の方法について

開札の結果、落札者となるべき最低の価格での入札をした者が2者以上あるときは、くじ（抽選）により、落札者を決定する。

### 1 入札書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

入札者はくじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号」欄にあらかじめ任意の数字（「000」～「999」）を記入すること。

なお、当該入札書のうちくじ番号に記載がない、又は正しく記入がなされていない場合は、「000」の数値が記載されたものとみなす。

### 2 くじの手順

(1) 対象者の入札書が到着した順（入札書提出日時順）に「抽選番号」（0, 1, 2, …）と番号を割り当てる。なお、開札場所における入札参加者は、郵便入札による者が存在するときはその後の順位とし、そのもの同士の順番は、当方が示した入札番号順とする。

郵便入札による郵便到着が同時刻だった場合も同様に当方が示した入札番号（開札順）とする。

\*到着順に入札番号を付与し、開札を行うので、入札番号の小さいもの順に抽選番号を割り当てることとなる。

(2) 当該入札書に記載された任意の「くじ番号」を合計し、その合計額を入札書の数で除算し、余りを算出する。

(3) 上記(2)の計算結果による余りと一致した上記(1)の「抽選番号」の入札参加者を落札者とする。

例) 入札参加者中、3者が同額の場合

(1) 入札書が到着した順に「抽選番号」を付与する。

A社（郵便1）・・・抽選番号0

B社（郵便2）・・・抽選番号1

C社（当日参加）・・・抽選番号2

(2) 「くじ番号」の数の和を求め、同額入札者数で除算し、余りを算定する。

A社・・・（「くじ番号」123）

B社・・・（「くじ番号」078）

C社・・・（「くじ番号」349）

合計（123+078+349=550）

余り（550÷3=183…余り1）

(3) 落札者の決定

余りと抽選番号が一致するB社が落札者となる。

(参考例)

業者名	くじ番号	抽選番号	落札
A社	123	0	
B社	078	1	○
C社	349	2	